

木曾駒ヶ岳 (2956M)

【山行日】 2016年7月2日(土)～3日(日) 晴れ、霧、風雨、強風

【集合】 小山市役駐車場 11時

【リーダー】 CL: 仙石 SL: 小川、梶内、横田、前沢、大町、清水カ、清水ケ、大島

【費用】 約10,000円

【コースタイム】

- 2日 小山市役所駐車場 5:30＝岩舟支所＝佐野藤岡IC＝東北道＝圏央道＝中央道＝駒ヶ根IC
＝菅の台バスセンター9:45～9:55＝しらび平＝千畳敷駅 11:10～12:00——
浄土乗越 13:10——宝剣山荘 13:15～13:35——中岳 13:50——
木曾駒ヶ岳 14:20～14:40——宝剣山荘 15:10
- 3日 宝剣山荘 6:50——千畳敷駅 8:00～8:30＝＝しらび平＝＝菅の台バスセンター9:45＝
こまくさの湯 11:00＝＝道の駅花の里いいじま＝＝駒ヶ根IC＝長野道＝上信越道＝
北関東道＝小山

最初にいいわけです。当初の計画の会報発表は6時発、計画書段階で5時にした。そのあと5時半出発に変更した。どれが本当か分からなくなった。結局、私が遅刻した??それで、この報告書を書いている。

宝剣山荘までで腰痛リタイア、浄土乗越までもフウフウ、後から考えてみると、高度障害もあり。一気に2,600mまで上がっては、私としては致し方ない。最低、最悪のコンディションでした。

出発前からお天気が心配だった。でも、ヤマテンの予報では、2日は午前中なんとか保って、3日は午後から荒れ模様とのこと。2日中に木曾駒をやっつけ、3日早々に下山と腹に決めて出発。千畳敷駅に上がったとたん強風、お昼にするにも場所が大変であった。二手に分かれて食事する羽目となってしまった。

駅のすぐ前にクロユリ、カールに降りていっても結構有る。イワカガミ、キバナノコマノツメ(黄色いスマイル) ミヤマキンポウゲ、シナノキンバイの黄色い花、ハクサンイチゲの白、花でいっぱいだ。遊歩道から八丁坂の登山道に入ると岩場の急登になる。宝剣の岩の尖りに白い雲がちぎれて飛ばされてゆく。上空は強風のような。

登るに従い腰が痛い、力が入らない。ゲゲゲゲ、どうしよう。ゆっくり登るしかない。ほんの少しで浄土乗越だというのに登れない。やっと、宝剣山荘にたどり着く。仙石、ここでリタイアを決断。(えらそうに??)あとは、小川さんに託して木曾駒ヶ岳山頂まで行ってもらおう。スパッツを脱ぐにも足が上がらない、腰ベルトを借りて安静にするしかない。

皆さんはガスの中、強風の中、木曾駒をきわめて帰ってきた。ご苦労様でした。

それから、反省会の宴会に突入、腰の痛いのも忘れて焼酎を飲む???そのまま食事に突入し、さらに爆睡で終了。

夜半、屋根を打つ強風に目を覚ます。大丈夫??と思うほどすごい風だ。朝の天気予報では午後にはもっと荒れるようだ。そうそうに下山とする。

カップを着て風に吹かれて、浄土乗越からカールへと下る。少しは風をしのげる。花たちは風に吹かれても、震えているようで力強い。急坂なので気をつけて降り、千畳敷駅に飛び込む。

しらび平では土砂降りの雨だったが、菅の台まで下ると雨はあがっており助かる。こまくさの湯は10時から、玄関前で10分ほど待って、汗を流す。11時、今度はお昼だ。帰る方向とは逆に南下して道の駅「花の里いいじま」で昼食とお買い物。来るときは中央道経由であったが、帰りは上信越道経由。混雑もなく帰還した。

(記: 仙石)



シナノキンバイ



イワカガミ



宝剣に雲が飛ぶ



登山道の両側がお花畑



ハクサンイチゲ



オヤマノエンドウ



タカネシオガマ



ボリューム満点の夕食でした